

第1号議案 令和2年度事業報告承認の件

令和2年度事業報告

はじめに

平成18年3月に、旧愛知川町と旧秦荘町が合併して愛荘町が誕生しました。これを受け、両町で既に事業活動を展開していたシルバー人材センターも合併して、新たに愛荘町シルバー人材センターが設立され、本年3月に設立15周年を迎えることとなりました。

今日を迎えることが出来たのも、多くの諸先輩方の並々ならぬご労苦とご尽力の賜と改めて感謝と敬意を表するとともに、新たな未来に向かって、会員の皆さんとともに役員および職員が一丸となって、さらに愛荘町シルバー人材センターを発展させていかなければなりません。

しかしながら昨年1月頃から猛威を振るっている新型コロナ感染拡大は、ワクチン接種がようやく始まったものの、未だ終息の見通しすら見えない未曾有の事態をもたらしています。高齢者集団である私たち組織にとって、引き続き厳しい環境が続くものと思われまます。これからも新型コロナ感染予防に万全を期しながら事業活動に取り組んでいく必要があります。

以下、令和2年度の事業活動実績の主な点について報告します。

1. 事業実績について

- 令和2年度契約高は、コロナ禍という厳しい経営環境にも関わらず、1.48億円と前年比99%となりました。これは大きく飛躍した令和元年度実績1.50億円に匹敵する実績であり、令和2年度目標の1.2億円以上を達成することが出来ました。
- 請負契約は、企業部門が新型コロナ感染拡大による受注減と、大手企業の請負契約から派遣契約への切替え等により、前年度比85%と大きく落ち込みました。一方公共部門では105%、家庭部門では107%と昨年実績を上回り、全体として1.0億円と対前年度比96%の実績となりました。

特に家庭部門においては、剪定や除草の基幹業務が大きなウエイトを占めていますが、中でも「襖、障子、網戸」の張替受注は、昨年度の26件から60件に大きく増加し、受注金額も165万円と対前年比1.5倍となりました。これは事務所のPR活動に加え、仕上がり状態の好評を受け、口コミで受注拡大に繋がったものです。また近隣町民からの受注も増えつつあります。

- 派遣契約では、学校関係において用務員の派遣契約が1箇所を除き契約解除となったこと、コロナ感染拡大に伴う学校休校に伴う給食配送業務の一時中断などの減少要因があったものの、請負契約から派遣契約への切替え、巣ごもり

需要による大型商業店舗の派遣業務の増加、公共部門の安定した契約により 4.1 百万円と前年度比 107%と堅調な伸びを示しました。

2. 実施事業について

(1) 安全就業への取り組み

- ・ 「安全は全てに優先する」という基本理念の下、令和2年度安全標語募集の入選作品“作業前 心のゆとりに 事故は無し”を安全スローガンとして、「安全遵守規則」を実践すべく安全啓発活動を展開しました。しかしながら傷害事故2件、賠償責任事故4件の計6件の事故が発生しました。
- ・ 安全委員会を定期的開催して事故の再発防止対策を検討するとともに、安全通信を発行して会員の安全意識高揚に努めるとともに、作業現場への安全パトロールを実施し、作業員に対する注意喚起を図りました。
- ・ シルバーが加入している保険制度について、会員の皆さんに理解を深めて頂くために、損保ジャパンから講師を招き研修会を開催しました。特に事故事例の紹介ならびに事故発生要因についての研修は、改めて作業安全に対する認識を深めることが出来ました。
- ・ 毎年3月に「安全大会」を開催し、安全に対するシルバー人材センターの基本的取り組み方針の確認と、会員の安全意識高揚を図っていますが、コロナ感染予防の観点から、昨年引き続き本年度も開催を中止しました。

(2) シルバー人材センターのPR活動

- ・ 愛荘町シルバー人材センターの様々な活動や取り組みについて、町民をはじめ各企業にご理解頂くことと、新規会員募集や新規業務の受注拡大に繋がるように、広報「シルバーあいしょう」を年2回発行しました。

(3) 会員拡大の取り組み

- ・ 新規会員勧誘に向けて理事、職員全員での取り組みにより、令和2年度末会員総数は312名と12名の増加となり、令和2年度の目標「会員数300名の安定的達成」を図ることが出来ました。入退会者の内訳は新規入会者48名、退会者36名となりました。入会率は5.3%と過去最高となり、県下でも上位の水準となっています。
- ・ 会員拡大の具体的な取り組み方策として、「シルバーの仕事の説明会」を毎月第2、第4火曜日に開催するとともに、「仕事の説明会」のチラシを作成し、年間7回に亘って町内の全戸に配布しました。また今後の事業拡大の課題でもある女性会員の就業機会の確保と会員拡大の両立を図るため、女性理事をはじめ女性会員を中心としたメンバーで、昨年10月9日に「女性活躍プロジェクトチーム（女性活躍PT）」を発足させました。
- ・ 女性活躍PTの取り組み事例として、令和3年4月からの新規事業として、「つくし保育園」から早朝および夕刻の各2時間、それぞれ4名（1日8名）

の保育補助業務を受注しました。この新規事業に対応するためには、現在の女性会員のみだけでは対応できないこともあり、理事および職員が一丸となって、女性会員の新規加入に取り組んだところ、13名の方に新たに加わりました。

(4) 会員に対する就業機会確保の取り組み

- 新規入会者に対し「会員講習会」を開催し、愛荘町シルバーの会員としての基礎知識と活動内容について理解頂く取り組みを行うとともに、可能な限り希望される職種とマッチングできる仕事の紹介に努めました。
- 毎月発行する「事務局だより」に「仕事の募集内容」を掲載し、会員の就業機会に繋がるように取り組みました。

(5) 受注開拓と受注継続への取り組み

- 新規事業開拓の一環として、愛荘町内の企業訪問活動を計画しました。一部受注に向けた協議が進展した企業もありますが、残念ながらコロナ禍の影響を受け、数件程度の訪問に終わりました。
- 「剪定、除草」業務において、過去ご契約頂いたお客さまに対し「往復はがき」で次年度の発注確認を行い、お客さまの確保に向けた取り組みを行うとともに、全戸配布するチラシ「仕事の説明会」で、シルバーの仕事内容を紹介する取り組みを展開しました。

(6) 健康増進活動の取り組み

- 例年会員同士の交流と仲間作りを目指して、ボウリング大会やグラウンドゴルフ、親睦旅行等の行事を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染拡大を予防する観点から中止しました。
- ただ新型コロナウイルス感染拡大が少し落ち着きを見せていた10月にハイキングと11月に親睦ゴルフを実施しました。

(7) 設立15周年記念事業実行委員会について

- 設立15周年を迎えるにあたって実行委員会を設置し、発足からの変遷をまとめるとともに、記念事業の計画策定を行いました。
- 具体的な事業内容として、15周年記念式典の開催、優良企業への感謝状贈呈や記念講演の実施、記念誌の発刊などで、向こう1年間15周年を旗印に事業活動を進めていく予定です。

(8) その他の取り組み

- 毎年12月に開催している「交通安全講習会と人権研修会」も新型コロナウイルス感染拡大を受け中止するとともに、パソコン教室およびハンドベルサークル活動も同様の趣旨で、年度後半は開催中止を余儀なくされました。